

当院で脳卒中を含む神経疾患の治療を受けられ、病理解剖にご同意いただいた患者さんのご家族様へ

### 研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理解剖にご同意いただいて得られた組織を用いて研究を行うものであり、健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。その場合は研究のために収集した情報をすべて削除します。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】国立循環器病研究センターにて2010年1月1日～2021年12月31日までに脳を含む病理解剖が行われ、剖検記録上、アルツハイマー病理が確認された方。

【研究課題名】認知症発症機序の解明とその解決：タウプローブ開発

【研究責任者】国立循環器病研究センター・脳神経内科・部長・猪原匡史

#### 【研究の意義・目的】

本研究は、病理解剖にご同意いただいて得られた脳組織を使用させていただき、アルツハイマー病の脳に沈着するタウという物質を検出する方法を開発することを目的としています。本研究の成果は、アルツハイマー病を早期に診断する検査法の確立につながることを期待されます。

#### 【利用する診療情報】

病理診断名、年齢、性別

#### 【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者 国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

研究責任者

1. 国立循環器病研究センター 臨床検査部臨床病理科 病理部長 畠山金太
2. 京都大学大学院薬学研究科 病態機能分析学分野 教授 小野正博

また、本研究で収集した試料・情報を、下記の施設で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

施設名及び管理責任者

京都大学大学院薬学研究科 病態機能分析学分野 教授 小野 正博

連絡先：075-753-4556

提供方法：郵送

【研究期間】研究許可日より2024年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

電話 [06-6170-1070]